

令和5年度 事務事業評価表

9650
一般会計

事務事業名	児童館管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち	
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む	
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている	
根拠法令	名 称		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和48年度		設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費	(単位：千円)		
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
市内在住6歳以上16歳未満の者、市内居住の付添人のある6歳未満の者、児童の育成に関する事業を行う団体	事業費	70,183	72,144	73,655
	人件費	3,351	1,652	4,506
目 的	総事業費	73,534	73,796	78,161
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにします。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
手段、手法【実施手法：指定管理】	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			73,655
	合 計			73,655
・コミセン併設児童館20館及び単独児童館2館は、それぞれの指定管理者が地域に密着した管理運営を行います。				
・子どもたちと関わりを持ちながら、様々な季節の事業を通して創造力豊かな発想を導き出すよう、展開していきます。				

3. 活動内容					
活動指標1	名称	利用人数	単位	人	
	内容説明	全館における利用者合計			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	80,000	80,000	80,000
活動指標2	名称	1館あたりの行事実施回数	単位	回	
	内容説明	総事業実施回数／22館			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	12	12	12
活動指標3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
活動指標4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 単独児童館2館は、昭和48年建築のため老朽化していることから、必要に応じて修繕を行い、適切に施設を維持管理していく必要があります。 子どもたちにとって充実した時間が過ごせるよう、指定管理者が行う季節の行事やイベント等の充実が求められます。 				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	子どもたちを対象とする各種の放課後事業との整合性を図りつつ、児童館の役割や運営手法などについて検討するとともに、子どもたちにとって充実した時間が過ごせる居場所となるよう、引き続き指定管理者との調整に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	B : 市が関与する必要性が低くなりつつある。
	B	B	B	地域住民により構成された団体が指定管理者として、主体的に地域の実情に即した管理運営を行っていることから、市の関与は低くなっています。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	利用者のニーズや地域の実情に合わせた自主事業を実施するなど、児童館が子どもたちにとって充実した居場所となるよう指定管理者との調整に努めます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	地域住民が主体となった指定管理者による自主的な運営がなされていることから、経費は適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	安全で自由な子どもたちの居場所として地域に開放していることから、公平性と負担の適正化を図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	B : 社会的配慮は行っているが、まだ不十分である。
	B	B	B	指定管理者の構成団体として自治会のほか、こども会や青少年健全育成団体等が参加しており、地域の子どもの健全育成に寄与しています。また、各児童館がホームページを公開しており、市民へ向けた情報発信を行っています。なお、単独児童館については、ユニバーサルデザインへの対応が必要となっています。

令和5年度 事務事業評価表

9651
一般会計

事務事業名	放課後児童クラブ事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・こどもがすくすく成長する産み育てやすいまち		
	個別目標	働きながら子育てができるようにする		
	めざす成果	安心してこどもを預けることができている		
根拠法令	名 称	児童福祉法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和60年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
保護者の就労や疾病等により昼間、保護者がいない等の児童		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	447,068	462,832	588,265
	人件費	33,748	34,283	37,822
目 的	総事業費	480,816	497,115	626,087
保護者の就労や疾病等により昼間、保護者がいない等の児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	150,124		
	県支出金	150,124		
	市債	0		
	その他	133,647		
	一般財源	154,370		
手段、手法【実施手法：直営・委託】	合 計 588,265			
・小学校の余裕教室等を活用し、資格を有する支援員等により児童クラブの運営を行います。				
・公営児童クラブのない学区（南林間小学校、西鶴間小学校）については、民営の児童クラブに業務を委託します。				
・公営及び委託民営児童クラブに入会できない児童（入会保留児童）を受け入れた他の民営児童クラブについては、その人数により、市から運営補助金を交付します。				

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	入所児童数（公営）			単位	人
	内容説明	（公営）児童クラブ入所児童数の合計				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1,677	1,750	1,823	
		実 績	1,657	1,737	---	
活動指標 2	名称	入所児童数（民営委託）			単位	人
	内容説明	（民営委託）児童クラブ入所児童数の合計				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	149	148	156	
		実 績	129	138	---	
活動指標 3	名称	入所児童数（民営補助）			単位	人
	内容説明	（民営補助）児童クラブ入所児童数の合計				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	328	387	403	
		実 績	274	299	---	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
		実 績			---	
課 題	<p>・保護者の利便性向上及び職員の業務負担軽減、運営の効率化を図るため、紙ベースで行っている業務をデジタルで管理できるようDX化を進める必要があります。</p> <p>・共働き世帯の増加などにより、今後も入会希望児童数の増加が見込まれるため、居室や人材の確保に努め、安定した児童クラブ運営を実施する必要があります。</p> <p>・支援を要する児童については、心理士と保育士の資格を有する職員を配置し、児童クラブ巡回訪問を実施するとともに、関係部署等とのさらなる連携を図ることにより、保育の質の向上に努めます。</p>					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	<p>共働き世帯の増加などにより、入会を希望する児童数の増加が想定されることから、引き続き、学校や教育委員会、民営児童クラブと居室の確保について調整を行うとともに、人材の確保及び保育の質の向上に努めます。</p> <p>配慮が必要な児童については、心理相談員と保育士が定期的に児童クラブを巡回訪問し、職員に対して適切な指導、助言を行うとともに、関係部署との情報共有や意見交換会の実施など継続した連携を図ります。</p> <p>【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	入会児童の健全育成と保護者の就労に伴う子育て支援のため、積極的に関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	放課後における児童を対象としている各事業との連携を継続し、効率的で効果的な運営手法について検討を行うとともに、入会児童の増加に対応するため、居室と支援員等の確保が必要です。また、入会児童に対して適切な対応ができるよう保育の質の向上が求められています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業費、人件費ともに適正な水準と考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	B：一部見直しが必要である。
	B	B	B	受益者負担について、他市の状況を踏まえた検討が必要です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各児童クラブに設置している保護者主体の運営委員会に対して補助金を交付し、児童クラブ運営への積極的な関与を図っています。また、配慮が必要な児童については、心理相談員と保育士とで定期的に行う児童クラブ巡回訪問を通じて、適切な支援にあたっています。

令和5年度 事務事業評価表

9658
一般会計

事務事業名	青少年育成事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成10年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
小学校高学年から青年まで。		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	798	830	984
	人件費	7,973	9,388	9,162
目 的	総事業費	8,771	10,218	10,146
大和ユースクラブの各種活動を通して、若者の健全育成と能力開発を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	460		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	524		
	合 計	984		
手段、手法【実施手法：直営・委託】	・大和ユースクラブに青少年に関わる事業を委託し、自主企画・自主運営を促進します。			

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	ユースクラブ活動日数		単位	日
	内容説明	ユースクラブが実施した研修・ボランティア活動等の日数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	90	80	70
	実 績	70	70	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	・大和ユースクラブについては、運営をサポートするユースボランティアの確保や、会員の活動参加率向上が課題です。 ・会員一人ひとりの意識・資質を高めるため、活動の運営方法等を継続して検討していく必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・大和ユースクラブ会員の確保と、会員一人ひとりの意識・資質を高めるため、活動の運営方法や事業の周知方法等を継続して検討してまいります。					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	

令和5年度 事務事業評価表

9659
一般会計

事務事業名	青少年指導者育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和36年度		設定無し	

2. 事務事業の概要						
対 象 大和市青少年指導員連絡協議会、大和市子ども会連絡協議会、大和市母親クラブ連絡協議会	総事業費 (単位：千円)					
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
目 的 地域で青少年健全育成を進める団体の協議会活動を支援し、指導者を養成することで、青少年が活動しやすい環境を構築します。	事業費	6,052	5,957	7,734		
	人件費	10,580	14,645	13,668		
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・地域で青少年の健全育成を進める3団体については、補助金による運営費の支援と、行政内に事務局を置く人的な支援を行っています。 ・青少年育成団体や中高生ボランティア等が主体となり、青少年を対象としたイベントを開催します。 ・指導者の資質向上のための研修を開催しています。	総事業費	16,632	20,602	21,402		
	6年度事業費（予算額）財源内訳					
成 果（効果・予測） ・青少年健全育成を進める団体の活性化や、地域指導者、中高生ボランティアの育成を進めることによって、地域での健全育成に対する取り組みが活発になります。	国支出金	0				
	県支出金	970				
	市債	0				
	その他	0				
	一般財源	6,764				
	合 計	7,734				
3. 活動内容						
課 題 ・青少年指導員の定数確保のために活動の運営方法や周知方法等の検討が必要です。	活動指標 1	名称	青少年指導員年間活動数		単位	回
		内容説明	各地区での活動数+専門部会開催数+連協事業数			
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定	300	300	300
			実 績	274	383	---
活動指標 2	名称	市子ども会連絡協議会加入数		単位	団体	
	内容説明	市子ども会連絡協議会加入子ども会数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	25	25	25	
		実 績	25	24	---	
活動指標 3	名称	青少年センターまつり参加団体数		単位	団体	
	内容説明	青少年センターまつりのステージや出店等の参加団体数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	3	3	---	
活動指標 4	名称	子どもの外遊び地域イベント開催地区数		単位	地区	
	内容説明	子どもの外遊び地域イベントを開催した地区数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	12	12	12	
		実 績	10	10	---	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・青少年指導員については、安定的な定数確保のために活動の運営方法や周知方法等を検討してまいります。 ・青少年育成団体が、事業を効果的、効率的に実施できるよう助言等の支援を行います。					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	

令和5年度 事務事業評価表

9660
一般会計

事務事業名	大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成14年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象 大和家庭・地域教育活性化会議推進委員会、中央林間連合環境浄化推進協議会、「愛の一声をかける運動」をすすめる会、大和東小学校区青少年を健やかに育てる会	総事業費	(単位：千円)		
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	1,396	1,418	1,682
	人件費	2,234	1,878	1,878
目 的	総事業費	3,630	3,296	3,560
学校と地域・家庭の連携を強化し、家庭や地域の教育力を高めるとともに、地域の連帯感を高め、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進します。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	841		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	841		
	合 計	1,682		

手段、手法【実施手法：直営】

・地区活性化会議については、推進委員会とおして事業内容に応じた運営費の支援を補助金によって行っています。また、各種団体代表及び地区代表から成る推進委員会との連絡調整を行っています。

3. 活動内容

成 果（効果・予測） ・組織及び運営に青少年の健全育成を目的とした他団体が連携して取り組むことにより、地域における青少年健全育成が活性化することが期待されます。	活動指標 1	名称	推進委員会開催回数		単位	回
		内容説明	推進委員会と研修会等の開催回数			
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定	4	4	4
	実 績	4	4	---		
課 題 ・各地区の実績報告や活動予定など、地区ごとに行う青少年健全育成活動の実態について情報交換をし、活性化会議のこれからについて検討する必要がある。	活動指標 2	名称	研修会等への役員参加地区数		単位	地区
		内容説明	研修会等に役員が参加した地区数			
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定	9	9	9
	実 績	9	9	---		
	活動指標 3	名称	環境浄化活動の実施地区数		単位	地区
		内容説明	環境浄化活動に関わる事業を実施した地区数			
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定	7	7	7
	実 績	8	5	---		
	活動指標 4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
			予 定			
	実 績			---		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	事業内容を精査するとともに指導室、図書・学び交流課との連携を図り、効果的な運営方法、活動内容について検討していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	B : 市が関与する必要性が低くなりつつある。
	B	B	B	市が運営費を支援することを前提としつつも、各地区で趣向を凝らした独自の活動を行っています。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	推進委員会で情報交換会等をより活発に行うことで、より効果的な運営を図っていきます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進するための経費として、適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	B : 一部見直しが必要である。
	B	B	B	効果的な活動内容の周知を行い、参加者の増加を図ることにより、受益が偏ることの無いようにすることが必要です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	地区広報紙やチラシの配布など、各地区の実情に合わせた取り組みを十分に行っていると考えます。

令和5年度 事務事業評価表

34627
一般会計

事務事業名	こども体験事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成26年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費	(単位：千円)		
小学5・6年生20人及び中学生10人		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	1,561	2,117	2,303
	人件費	4,841	4,506	7,810
目 的	総事業費	6,402	6,623	10,113
様々な体験を通し、豊かな感性やリーダーシップ等を育み、主体的に活動できる青少年を育成します。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	733		
	市債	0		
	その他	1,570		
	一般財源	0		
	合 計	2,303		

3. 活動内容

手 段、手法【実施手法：直営・委託】	<ul style="list-style-type: none"> 特色のある地域性や自然豊かな福島県会津地域において、地域の人達との交流や食育に関する体験プログラム、歴史的時代背景の学びなどを行います。 企画運営は、青少年（高校生以上）を中心とした実行委員会によって行います。 青少年健全育成基金を活用します。 	活動指標 1	名称	公募による実行委員数	単位	人
		内容説明	実行委員のうち、公募による青年の実行委員の数			
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定	10	10	10
実 績	13	10	---			
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が様々な体験をすることにより、豊かな感性やリーダーシップ等を育み、主体的に活動できる青少年の育成に寄与します。 	活動指標 2	名称	実行委員会開催回数	単位	回
		内容説明	事業の企画等を検討するための会議回数			
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定	4	4	4
実 績	4	4	---			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員及び参加者の募集について、十分市民に周知されるよう広報の手段・方法を考える必要があります。 参加者にとって、有益で効果的な学習体験の場となるよう、訪問地の特色ある実情に合わせた体験プログラムを提供していく必要があります。 	活動指標 3	名称		単位	
		内容説明				
		指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定			
実 績			---			
活動指標 4	名称		単位			
内容説明						
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
実 績			---			

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	今後も引き続き事業に関する情報を収集する等を行い、活動プログラムについて検討を行います。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	実行委員は青年ボランティアが主体であり、本事業には行政や協力団体関わっていることから、その調整などは市が行う必要性が高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	—	B	B	子どもたちが様々な体験を通じて、豊かな感性やリーダーシップを育むことができるプログラムを構成することが必要であると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	充実したプログラムと参加者の確保のためには、適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。
	—	A	A	参加者からは往復の電車賃相当の負担金を徴収しており、適正であると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	—	A	A	市のホームページや広報等により、広く市民に周知し参加者を募っていることから、社会的配慮については十分であると考えます。

令和5年度 事務事業評価表

40940
一般会計

事務事業名	こども食堂支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・こどもがすくすく成長する産み育てやすいまち		
	個別目標	妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する		
	めざす成果	すべてのこどもがすくすくと健康に育っている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成28年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
こども食堂を実施する団体		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	2,944	4,268	6,680
	人件費	2,606	1,727	6,008
目 的	総事業費	5,550	5,995	12,688
子どもの孤食を減らすとともに、子どもにとって安心できる地域の居場所づくりと保護者の子育て支援を目的とします。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	4,320	
手段、手法【実施手法：直営】 ・こども食堂を実施する団体に対して補助金を交付します。		県支出金	0	
		市債	0	
		その他	0	
		一般財源	2,360	
		合 計	6,680	

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	補助金交付か所	単位	か所	
	内容説明	補助金を交付したか所			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	6	9	10
実 績	6	8	---		
活動指標 2	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂が効果的に実施できるよう、情報交換会を通じて補助団体同士の連携を図ることが求められています。 ・新たにこども食堂の開設を検討している団体が複数あることから、地域におけるこども食堂のニーズ等を踏まえ、補助金を交付するこども食堂の数及び開催回数や地域偏在の解消など課題を精査して、事業全体の方向性について検討が必要です。 				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	5年度 Ⅱ：見直しのうえで継続 補助金を交付するこども食堂の数や金額を含め、開催回数や地域偏在の解消など課題を精査して、事業全体の方向性の検討を進めます。また、補助金交付団体による情報交換会により、団体間の連携を図っていきます。			

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	子どもの居場所づくりと保護者の子育て支援を目的としていることから、市内におけるこども食堂の実施団体の充実や実施場所の適正配置を進めるためには市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	支援するこども食堂の数は増えていますが、実施する地域や開催回数の偏りといった課題について検討が必要です。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	補助金については、こども食堂実施団体の運営経費の一部としていることから、事業費及び人件費ともに適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	こども食堂利用者に対して、無料または安価な食事を提供することが求められていることから、適正化は図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	広報やまことや市のホームページへの掲載、市内小中学校へのチラシ配布等において、こども食堂の活動を市民に周知するとともに、食材の寄附等について、市民参加を促しています。

令和5年度 事務事業評価表

9648
一般会計

事務事業名	青少年健全育成都市宣言推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称	地方青少年問題協議会法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和49年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	707	553	693
	人件費	4,841	3,229	6,008
目 的	総事業費	5,548	3,782	6,701
家庭、学校、地域社会が相互の連携を密にし、市民総ぐるみで青少年の健全育成を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	693		
	合 計	693		

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	青少年健全育成大会の開催回数			単位	回
	内容説明	青少年育成活動推進者表彰、青少年善行表彰等				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1	1	1	
	実 績	1	1	---		
活動指標 2	名称	青少年問題協議会の開催			単位	回
	内容説明	青少年育成関係機関及び団体の代表による諸問題の協議				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	2	2	2	
	実 績	2	2	---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	青少年に関する様々な課題や支援等について、関係機関や青少年健全育成団体等との情報共有に努めるとともに、青少年を取り巻く喫緊の課題にも対応できるよう、こども家庭庁を中心とした国の動向を踏まえつつ、効果的な連携や手法等についての検討を継続します。					

令和5年度 事務事業評価表

9649
一般会計

事務事業名	青少年キャンプ施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和58年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
青少年、青少年育成団体、親子等		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	9,459	9,784	11,076
	人件費	4,841	5,633	3,079
目 的	総事業費	14,300	15,417	14,155
野外での活動を通して、青少年が自然に親しみ、情操を高め、心豊かな人間性を培う場や、親子のふれあいを深める場を提供します。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】 ・泉の森ふれあいキャンプ場を開設し、青少年団体や親子等に提供します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		11,076
		合 計		11,076

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	開設日数（泉の森ふれあいキャンプ場）			単位	日
	内容説明	年間開設日数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	240	302	302	
	実 績	192	302	---		
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・泉の森ふれあいキャンプ場の施設が老朽化していることから、計画的な修繕が必要です。 ・テントサイトの整備については、地元ボランティアなどとの協議を行いながら方向性を検討する必要があります。 					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	泉の森ふれあいキャンプ場の施設が老朽化していることから、引き続き施設を安全に利用できるよう適切に維持管理を行う必要があり、キャンプエリアのナラ枯れ等についても関係部署と連携しながら適切に対応していきます。また、テントサイトの整備については、地元ボランティアなどとの協議を行いながら方向性を検討します。					

令和5年度 事務事業評価表

9653
一般会計

事務事業名	青少年センター運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち	
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む	
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている	
根拠法令	名 称		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成08年度		設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象 市内在住・在勤・在学の青少年、青少年団体、青少年育成関係者等	総事業費 (単位：千円)					
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
目 的 青少年健全育成の立場から、青少年や青少年団体等へ施設を提供します。	事業費	1,667	1,502	2,370		
	人件費	1,822	2,362	2,617		
手段、手法【実施手法：直営】 ・青少年や青少年団体等へ施設を提供します。 ・中高生ボランティアを募り、青少年センターまつりを開催します。	総事業費	3,489	3,864	4,987		
	6年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金			0		
	県支出金			50		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			2,320		
	合 計			2,370		
3. 活動内容						
活動指標 1 成果（効果・予測） ・施設の提供を通じて青少年や青少年団体を支援することで活動の活性化が図られます。 ・青少年センターまつりを通じて中高生ボランティアが主体的に活動できる機会が確保できます。	名称	利用者数	単位	人		
	内容説明	年間利用者数の累計				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1,500	3,000	3,000	
	実 績	2,199	2,111	---		
活動指標 2	名称		単位			
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 3	名称		単位			
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称		単位			
	内容説明					
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定				
	実 績			---		
4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	より多くの青少年や青少年団体、青少年育成関係者等が利用するよう、適切な施設の維持管理に努めます。また、施設のあり方を含め、より効果的な利用促進の手法等について引き続き検討します。青少年センターまつりを通じて中高生ボランティアが主体的に活動できる機会の確保に努めます。					

令和5年度 事務事業評価表

9655
一般会計

事務事業名	二十歳の祝典開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和36年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
本年度20歳になる市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	6,752	9,176	9,994
	人件費	7,896	10,139	10,139
目 的	総事業費	14,648	19,315	20,133
都市宣言の理念のもとに生まれた青少年が、人生の節目の日を自ら祝うため、実行委員として企画運営に参加し、有意義なイベントを作り上げていきます。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	9,994		
	合 計	9,994		

3. 活動内容					
活動指標1	名称	実行委員会の開催数		単位	回
	内容説明	二十歳の祝典の内容等を検討する回数（部会を含む。）			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	16	16	16
	実 績	21	18	---	
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳になる市民にとって自らの式典であるという自覚を高めることができます。 ・20歳になる市民が友人や恩師等と会える機会を設けることで、学生時代を懐かしむとともに絆を深めることができます。 ・市民が企画・運営等に参加することで、市全体で20歳になる市民を祝い励ますことを実現します。 				
活動指標2	名称	二十歳の祝典実行委員の募集		単位	人
	内容説明	公募による実行委員数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	10	10	10
	実 績	8	6	---	
活動指標3	名称	参加人数		単位	人
	内容説明	参加対象者の70%を目標とした参加人数実績			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	1,400	1,400	1,400
	実 績	1,403	1,518	---	
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・公募に応じる実行委員の人数を増加させるため、効果的な周知方法の検討が必要です。 ・参加者にとって式典が心に残り、市への愛着が深まるよう効果的な演出方法の検討が必要です。 				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	実行委員会における効率的な会議の運営などについて継続して検討するほか、参加者にとって式典が心に残り、市への愛着が深まるよう効果的な演出方法等を検討していきます。					

令和5年度 事務事業評価表

9656
一般会計

事務事業名	親子ふれあい推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年活動推進係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち		
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む		
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和58年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	871	3,541	3,960	
	人件費	6,112	7,135	8,336	
目 的	総事業費	6,983	10,676	12,296	
親子のふれあいや子どもと地域住民との交流を深めます。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金	0			
	県支出金	1,980			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,980			
	合 計	3,960			
手段、手法【実施手法：直営・委託】	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場推進委員会に委託し、市内15箇所ですれあい広場を実施します。 青少年指導員連絡協議会に親子ナイトウォークラリーを委託し、実施します。 				
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> 親子のふれあいや地域への愛着を深め、青少年の健全育成や明るい家庭づくりに寄与します。 				
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	ふれあい広場開催回数		単位 回	
	内容説明	ふれあい広場を開催した回数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	15	15	15
	実 績	0	13	---	
活動指標 2	名称	親子ナイトウォークラリーコース数		単位 本	
	内容説明	親子ナイトウォークラリーのコース数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	3	3	3
	実 績	3	3	---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場については、参加者だけではなく、安定した運営を行うために、運営に携わる役員やボランティアを増加させる必要があります。 親子ナイトウォークラリーについても、実施手法や内容の見直しの必要があります。 				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	II：見直しのうえで継続	4年度	II：見直しのうえで継続	5年度	II：見直しのうえで継続
	運営に携わる役員やボランティアを増やし、安定した運営を行うために事業の実施手法や内容を検討してまいります。					

令和5年度 事務事業評価表

9928
一般会計

事務事業名	青少年健全育成基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	基本目標	人の健康・未来に向かうこどもの学びと歩みを支えるまち	
	個別目標	こどもの豊かな心・健やかな体を育む	
	めざす成果	こどもが豊かな感性を身につけている	
根拠法令	名 称		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	平成16年度		設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
青少年健全育成基金		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	400	900	202	
	人件費	372	150	2,253	
目 的	総事業費	772	1,050	2,455	
青少年の健全育成のための基金を適正に管理します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 ・基金を管理するとともに、市民からの寄附金を受け入れます。	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			202	
	一般財源			0	
	合 計			202	
3. 活動内容					
成 果（効果・予測） ・寄附金を活用することで、青少年の健全育成に寄与します。	活動指標 1	名称 寄附金受入件数	単位 件		
		内容説明 年間に寄附金を受け入れた件数（ふるさと納税の寄附を除く）			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	1	1	1
	実 績	2	2	---	
課 題 ・ふるさと納税により寄附額が増加している基金の用途について検討が必要です。	活動指標 2	名称	単位		
		内容説明			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
	活動指標 3	名称	単位		
		内容説明			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
	活動指標 4	名称	単位		
		内容説明			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	II：見直しのうえで継続	4年度	II：見直しのうえで継続	5年度	II：見直しのうえで継続
	基金を適正に管理するとともに、ふるさと納税により増加している基金の用途について検討を継続します。					

令和5年度 事務事業評価表

41590
一般会計

事務事業名	市民活動拠点ベテルギウス施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	こども部	こども・青少年課	こども・青少年育成係	鈴木 奈穂子

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	健康な行政経営・即応性の高い行政経営		
	個別目標	公共施設・公有財産の適正管理		
	めざす成果			
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成30年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	市民活動拠点ベテルギウス				
目 的	総事業費	(単位：千円)			
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	47,312	44,141	53,385	
	人件費	6,702	6,233	6,008	
総事業費	54,014	50,374	59,393		
手段、手法【実施手法：直営】 ・建物衛生管理・清掃・各種保守点検を委託により実施し、施設を適正に維持管理します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	2,774			
一般財源	50,611				
合 計	53,385				
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	維持管理件数		単位	件
	内容説明	委託件数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	14	14	19
		実 績	15	14	---
活動指標 2	名称	修繕等件数		単位	
	内容説明	修繕を行った件数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	4	2	2
		実 績	10	16	---
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	<p>・旧図書館及び生涯学習センターを改修した施設であるため、施設設備の老朽化対応を含めた補修等を行い、適切に維持管理していくことが必要です。</p> <p>・光熱水費をはじめ、維持管理に必要な経費の縮減に努める必要があります。</p>				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	<p>設備の老朽化に伴い、計画的に施設管理を行う必要があります。</p> <p>維持管理費の削減に努めながら施設を維持していく必要があります。</p> <p>【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>					